

DR. DION PATTI DJALAL

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Founder and Chairman of Foreign Policy Community of Indonesia (FPCI)
- Indonesia's Vice Minister of Foreign Affairs (2014);
- Ambassador of Indonesia to the United States (2010 – 2013)
- Presidential Spokesperson (2004 – 2010)



ディノ・パティ・ジャラルは、職業外交官、元大使、ベストセラー作家、学者、青年活動家です。1965年にユーゴスラビアのベオグラードで生まれたディノは、外交官の家庭で育ち、世界各地の都市で暮らしました。彼は、ロンドン スクール オブ エコノミクスで国際関係論の博士号を取得しており、カールトン大学とサイモン フレーザー大学でも学位を取得しており、イスラムと西洋の教育が融合した教育を受けています。

ディノ氏の外交官としてのキャリアは 1987 年に始まり、ロンドン、ディリ、ワシントン DC に駐在しました。東ティモールの国連住民投票の際にはインドネシア政府報道官として全国的に認知され、スシロ・バンバン・ユドヨノ大統領の特別スタッフとして勤務し、インドネシアで最も長く大統領報道官を務めた人物となりました。2010 年から 2013 年まで、ディノ氏はインドネシアの米国大使を務め、二国間関係を包括的パートナーシップに高めました。

Topics

- Asia
- Communications
- Geopolitics
- Globalisation
- Government
- Innovation

2015年、ディノ氏はインドネシア外交政策コミュニティ(FPCI)を設立しました。これは現在、10万人を超える会員を擁するインドネシア最大の外交政策ネットワークです。また、インドネシア外交政策会議やスーパーメンタープログラムなど、外交政策と個人の成長に関する対話を促す取り組みの立役者でもあります。ディノ氏はインドネシア世界資源研究所(WRI)の理事会議長を務め、パリ平和フォーラムの執行委員会にも参加しています。

ディノは、200 万部以上を売り上げたベストセラー『Harus Bisa』を含む 11 冊の著書を執筆しています。彼は宗教間対話の先駆者であり、宗教指導者間の相互尊重を促進し、国際的に高い評価を得ている 1000 Abrahamic Circles プログラムを創設しました。また、インドネシア系移民の父としても称賛されており、インドネシア系移民の最初の世界会議を組織し、「インドネシア系移民」という用語を生み出しました。

ディノの粘り強さと革新的精神は、世界的なタウンホールミーティングの開催から Mola TV でのハリウッドスターへのインタビューまで、彼のキャリアと貢献を形作ってきました。彼は家族とともにインドネシアのジャカルタに住んでいます。